

子ども科学体験推進事業

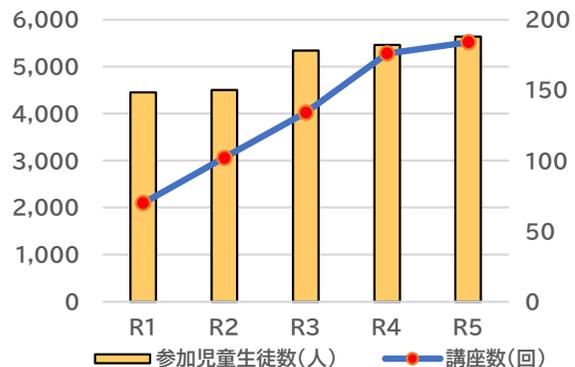
現状と成果

- ①科学体験施設としてのO-Laboの認知度向上
 - ・講座参加者数(R1:4,451人 → R5:5,637人)
 - ・講座数の拡大(R1:120講座 → R5:184講座)
- ②科学体験の全県的拡大(サテライトラボの開催)
 - ・全市町村において定期的に科学体験講座を実施(R2:3会場 → R3:10会場 → R5:16会場)
- ③講師ネットワークの拡大による講座の多様化
 - ・協力講師・団体数(R1:69団体 → R5:82団体)
- ④中学生を対象としたハイレベル講座の実施
 - ・みらいの教室 ・ESDサイエンスラボ ・ICT教室 ・宇宙教室

課題

- ①学習した科学体験の実生活への応用
- ②最先端技術に触れる機会の提供
- ③中学生向け講座の更なる充実

O-Labo参加児童生徒数と講座数の推移



今後の展開

- ①子どもの科学体験機会を県内すべての地域で提供
- ②発達段階に応じた科学体験機会の創出
- ③ハイレベル講座による学習意欲の醸成
- ④STEAM教育を活用した協働的な課題解決能力の育成
- ⑤多様な講座実施に向けた講師ネットワークの拡大
- ⑥適正規模での効果的な講座の実施

R7実施講座の内容

みらいの教室(R4~6)	⑧ チャレンジラボ(R7~)			
○対象:中学生 ○内容:Webによる予習とO-Labo教室での理数系に特化したセット講座 ○実施形態: 予習動画の事前視聴(30分) +体験講座(90分) (例) ・身の回りの出来事を確率と統計を使って分析してみよう ・生命の設計図を凍結保存する ・実験室で青い温泉水をつくろう	○対象:中学生 ○内容:科学技術系人材の育成に向けた探究型ハイレベル講座 ・5つの分野(物理・化学・生物・地学・数学)に関連する実生活での課題の解決 ・タブレットを使ったデータ処理・グラフ作成・情報共有等、ICTの能動的・効果的な活用 ○実施形態 			
サテライトラボ	ICT教室	宇宙教室	ESDサイエンスラボ	
○対象:小学生・中学生 ○内容:企業・大学・地元の高等学校等と連携した科学体験講座 ○実施形態:県内各地域で全60回の講座を実施 【10回実施】 中津、佐伯、日田 【5回実施】 宇佐、豊後高田・国東・姫島、日出・杵築、臼杵・津久見、竹田・豊後大野、由布・九重・玖珠	○対象:中学生 ○内容:プログラミングの学習やAIの仕組み等社会実装されている技術やプログラミング言語を体験しながら学ぶ講座 ○実施形態 全5回の連続講座 (例) ・MicrobitやJavaScriptを学ぶ	○対象:中学生 ○内容:宇宙への興味関心を喚起し、将来の宇宙産業を支える人材を育成するため宇宙工学・宇宙物理学・天文学等専門の宇宙科学分野に関する講座 ○実施形態:1回完結型の体験講座を全5回実施 (例) ・缶サットの製作と実験	○対象:小学6年・中学1・2年 ○内容:先端技術に触れながら、社会課題の解決や持続可能性に関する考え方を系統的に学ぶ連続講座 ○実施形態 全10日間の連続講座(通常講座5回、派遣講座1回、宿泊講座1回、成果発表1回) (例) ・九州大学カーボンニュートラルエネルギー国際研究所訪問 ・県内企業への訪問及び体験	

講座	対象	R7年度講座内容	日数
通常講座	小学生 中学生	企業・大学等と連携した各分野における講座 フォローアップ講座を10日実施	75
サテライトラボ	小学生 中学生	大分地区(大分市・別府市)を除く県内すべての市町村における科学体験講座	60
ESDサイエンスラボ	小6~ 中2	先端技術に触れながら、社会課題の解決や持続可能性に関する考え方を系統的に学ぶ連続講座	10
ICT教室	中学生	プログラミング等先進的科学技術に関する連続講座	5
宇宙教室	中学生	宇宙工学や宇宙物理学に関する講座	5
チャレンジラボ	中学生	科学技術系人材の育成に向けたハイレベル講座	5
合計			160
展示	常設展示	JAXA、JAMSTEC、国立科学博物館等と連携した展示 子どもの興味関心の高い事象、日常生活や社会との関連した展示	
その他	その他経費	家賃・保険、メンテナンス料等	

科学体験講座